

新型コロナウイルス：ワクチン接種の動き

令和3年2月
在ラオス日本大使館

1 ラオスにおけるワクチン

(1) シノファーム（中国）：2000回分（1000人分）+30万回分（15万人分）：到着済み

※ソムディ副首相及びブンコーン保健大臣が接種する姿を報道。

※2020年11月から臨床試験的扱いで開始。医療従事者、国境勤務者、隔離施設職員等298人（うち173名は2回）接種したが副作用等なしとの報道（1月27日付）。

※2月8日、30万回分のワクチン到着。

(2) スプートニクV（露）1000回分（500人分）：到着済み

※2021年1月、1000回分（500人分）の引き渡し式実施。露大使は、申請があれば200万回分を条件付で購入できる旨の発言（1月27日付報道）

※昨年、スプートニクVの一部工程をラオス国内の製薬工場で生産する可能性についての報道もあったが現状は不明。

(3) COVAX（国際的共同購入枠組み）経由

※全人口の20.5%分を申請済み。詳細については未定。

2 ラオスにおける接種計画

(1) 接種計画案は策定中。

(2) 2021年内に人口22%、2022年に人口50%、2023年に人口70%を目指す方向で検討中。

(3) 在留外国人の接種については未定である由。

(了)